



寿光園だより

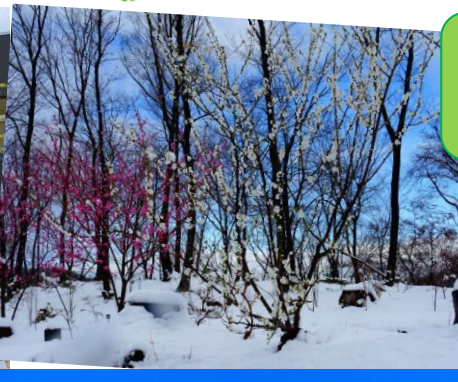
第 0073 号
令和2年6月 発行
制作：寿光園広報担当
<http://www.jyukouen.or.jp/>



暖かい日が続いたかと思えば、雪が舞い冬に戻ったような風が吹く。令和2年の春は例年に比べて寒暖差を極端に感じた方も多かったのではないのでしょうか。特別養護老人ホーム寿光園においてもそれは例外ではなく、桜が咲いたのでポカポカ陽気であろうかと思いきや、「窓を開けてみると肌寒くてびっくりした」と話された入所者様もおられました。例年であると、インフルエンザや風邪等が沈静化していれば面会制限も全館解除となり、「花見ドライブ」を企画・実施させていただいてはいたしましたが、新型コロナウイルスにより中止となりました。施設正面玄関側の道路沿いや裏山に植えてある桜を、散歩しながら見ていただきながら「今頃田植えの準備をしているなあ」と呟く入所者様もおられました。少しでも季節を感じていただきたく、昼食「花見弁当」と午後は桜餅を提供させていただきました。今年は老若男女全てが「我慢と辛抱」を試されているようです。来年こそは御家族様と桜を眺める、そんな春を願わずにはられません。



彩り鮮やか「お花見弁当」



外出自粛・ステイホーム それでも季節は移ろいゆく

桜が咲けば、足元や周辺でもあつという間に季節が春を突き進みます。パンジーや水仙、チューリップも咲き誇り、「なんで面会に来れないんだ」と話される利用者様に相談員や職員が事情を説明する毎日が過ぎていきました。施設周囲を車椅子や手を引いての散歩をしていただいたりすることで、陽の暖かさや風によってくる春の香りを感じてもらいながら気分転換をしていただきました。ゴールデンウィークや母の日が過ぎても世間の情勢はパッとしまませんが、利用者様の皆様におかれましては変わらず健康に毎日を笑顔多く過ごされています。

